

第4回

日本ディサースリア臨床研究会主催

STのための

会員限定

ミニレクチャー

気管切開者への発話と嚥下のマネジメント

気管切開は優れた呼吸管理法の一つで、医師が管理する医療行為です。今日、医師以外のメディカルスタッフも気管切開をされている方と接することは多く、適切な行為やケアを実践するためには気管切開に関する基礎的知識を得ておくことが必要です。気管切開をされた方のほぼ全員に、摂食嚥下機能の問題が生じます。喉頭運動の抑制や咽喉頭の構造の変化の他、声門下圧が高まらなくなったり、呼気の流れがかわったり、多くの要因が影響を与え、うまく食べられなくなれる方が多くなります。このような方々には相応のリハビリテーションを行いつつ、安全に摂食する方法を獲得するための支援を行います。また、気管切開をされた方は声が出せなくなりますが、病状や身体状況によっては気管切開チューブを工夫し発声が可能となるケースもあります。ただし、発声が可能な場合でも気管切開術を受ける前と同じ発声ではないことが多く、発話への支援やMTPSSEを主体としたリハビリテーションは発声できない方、発声できる方いずれにおいても日常のコミュニケーションを保障する重要なポイントとなります。

日時

2023年

9月27日 (水) 19:00-20:00

開催

方法

Zoom  
ウェビナー

定員：300名

※申し込み先着順で、定員になり次第  
締め切らせていただきます

講師

大久野病院

中山剛志 先生

参加

費用

日本ディサースリア臨床研究会 会員：無料

※非会員の方は入会後にお申し込みください

参加

申込

申込受付開始：8月上旬～

受付方法についてはあらためてご連絡いたします。

お問い合わせ

日本ディサースリア臨床研究会ミニレクチャー実行委員会  
E-mail: koho@dysarthrias.com